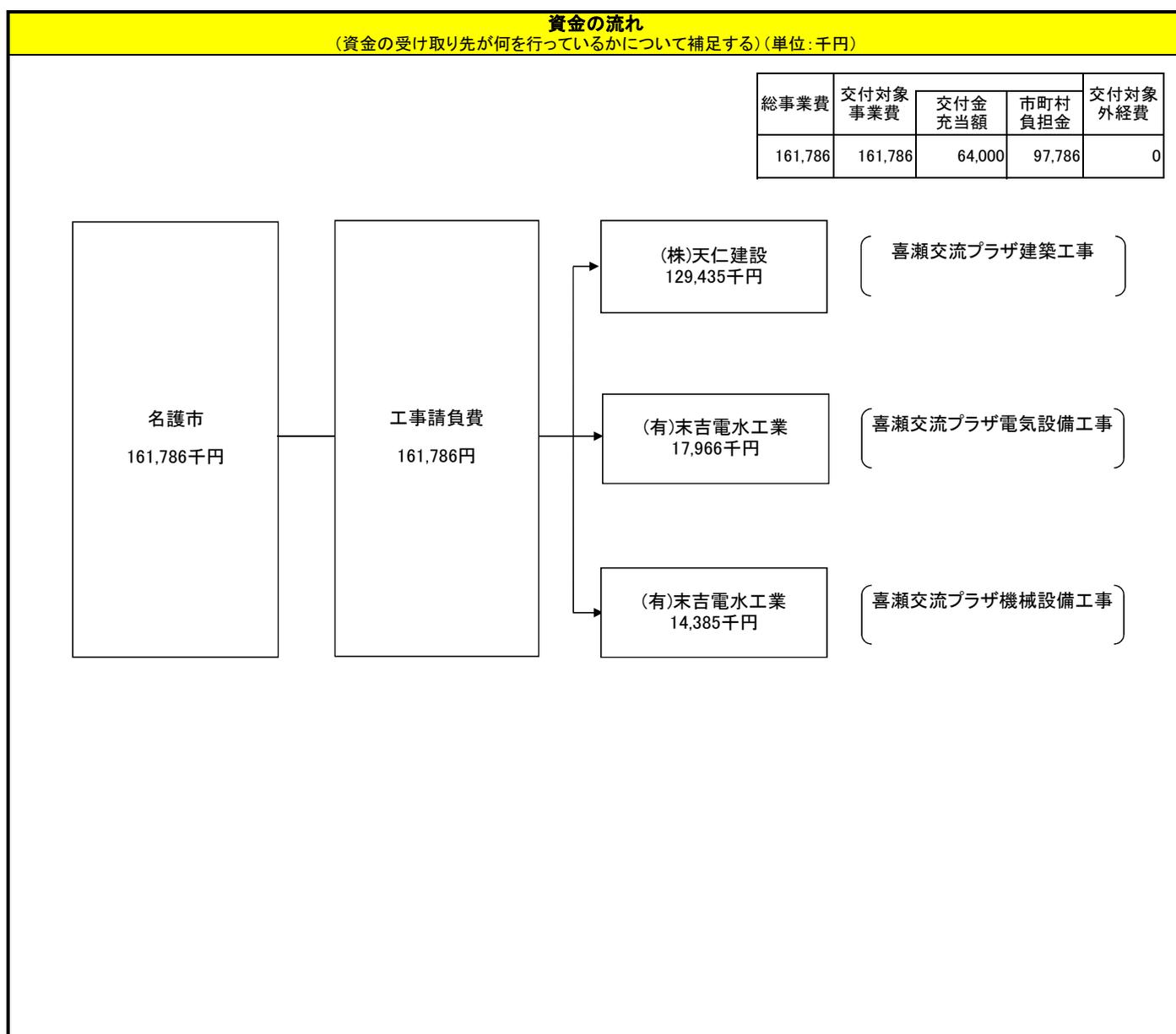


市町村名	名護市						
平成24年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 喜瀬交流プラザ整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ		
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流と共創による農山漁村の活性化 Ⅲ-12-(3)		
事業内容	喜瀬地区においては、スポーツや豊年祭をはじめとする伝統文化・芸能などの地域活動を通じて観光客との交流・体験活動を計画しており、本事業によりこれら交流拠点の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	24年度(事故繰越)	25年度	26年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	189,000	-	-		
		(b) 予算現額	189,000	-	-		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	-		
		(d) 繰越額	-	189,000	123,879		
		A. 計 (b+d)	189,000	189,000	123,879		
	B. 執行済額		0	65,121	96,665		
	うち交付金充当額		0	52,097	11,903		
	次年度繰越額		189,000	123,879	-		
	執行率 (%) (B/A)		0.0%	34.5%	78.0%		
予算の状況の説明		施設設計にあたり地域住民からの面積、配置、規模、収容人数に関し意見があり、その調整に不測の日数を要したため、平成25年度に繰越を行った。さらに、建物の位置出しを行った際、工事施工上障害となる立木伐採に係る地主との補償交渉や型枠工や鉄筋工等の職人不足のため、その確保に不測の日数を要し事故繰越となった。 なお、不用額が27,214千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり活動目標・成果目標の達成状況を鑑み、適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	喜瀬交流プラザの建設着手	目標	(建設着手)	()	()	()	
		実績	建設完了				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成25年8月から平成26年5月にかけて建築工事等を実施し、完了した。職人不足等から事故繰越をすることとなったが、当初の活動目標は達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	喜瀬交流プラザの建設着手	目標	()	(建設着手)	()	()	()
		実績		建設完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成26年6月供用開始により、交流拠点としてスポーツや豊年祭をはじめとする伝統文化・芸能などの地域活動が可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当施設「喜瀬交流プラザ」の利用に関して、周辺のホテルに滞在する県内・県外観光客の誘致が課題となる。 現状では、ホテル業者との調整で利用者の確保を考えている。	ホテル業者との直接の調整だけでなく、市観光協会及び旅行業者との取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
市観光協会の事業と共同で地元芸能等の見学ツアー等を検討していく。		

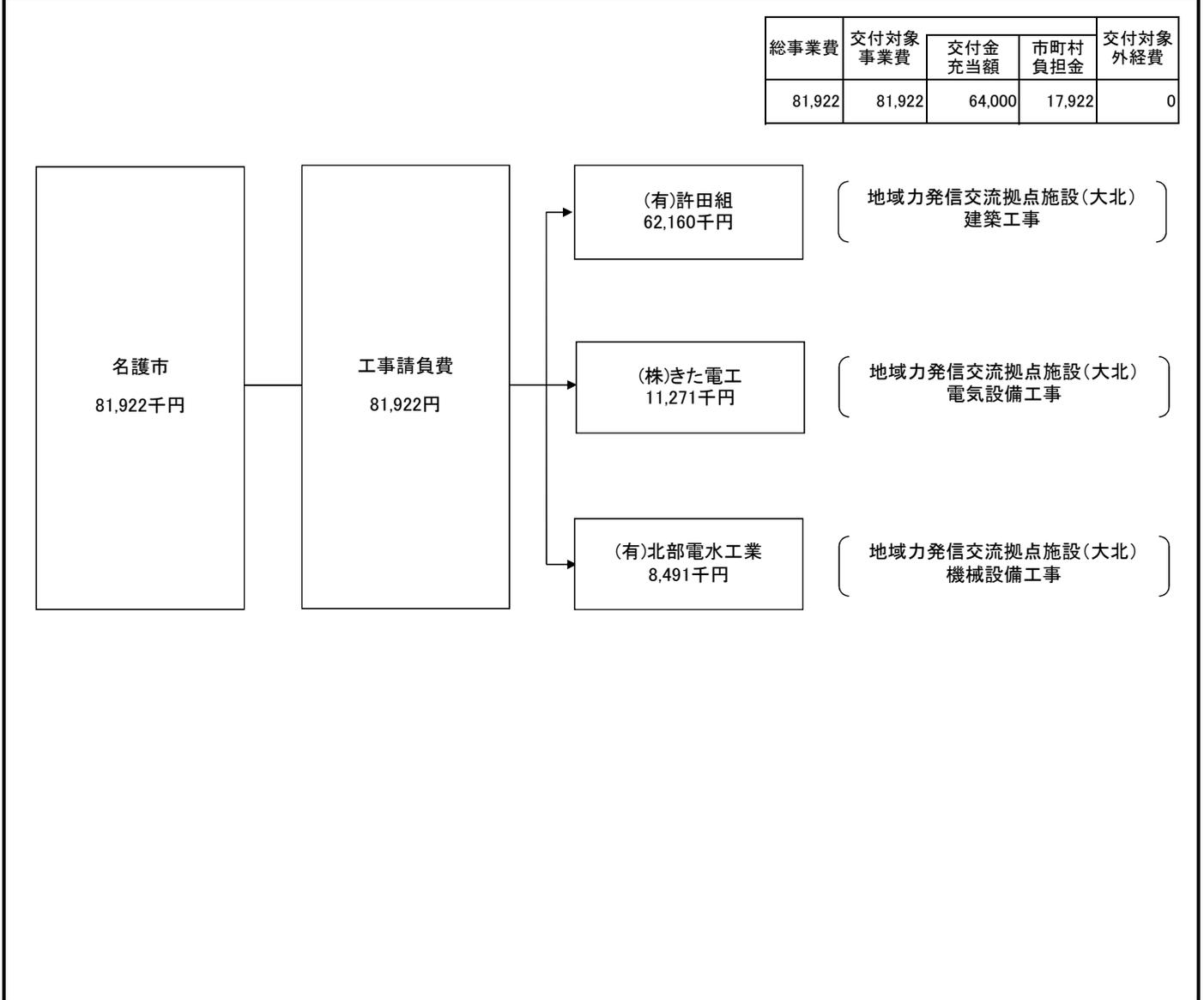


資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札により決定しており、妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○本市の地域コミュニティ施設支援方針に基づき実施設計を行い、予算の積算を行っていることから適正な規模と積算である。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市						
平成24年度(事故繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-② 地域力発信交流拠点施設整備事業(大北)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ		
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-12-(3)		
事業内容	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	24年度(事故繰越)	25年度	26年度	
	(a) 当初予算額	125,820	-	-			
	(b) 予算現額	125,820	-	-			
	(c) 増減額 (b-a)	0	-	-			
	(d) 繰越額	-	125,820	93,052			
	A. 計 (b+d)	125,820	125,820	93,052			
	B. 執行済額	0	32,768	49,154			
	うち交付金充当額	0	26,214	37,786			
	次年度繰越額	125,820	93,052	-			
	執行率 (%) (B/A)	0.0%	26.0%	52.8%			
予算の状況の説明	施設設計にあたり地域住民からの面積、配置、規模、収容人数に関し意見があり、その調整に不測の日数を要したため、平成25年度に繰越を行った。さらに、当該区が行う敷地造成計画の遅れや、区の要望による土質調査の追加、基礎工法の再検討、型枠工や鉄筋工等の職人不足のため、不測の日数を要し事故繰越となった。 なお、不用額が43,898千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり活動目標・成果目標の達成状況を鑑み、適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	地域力発信交流拠点施設(大北)の建設着手	目標	(建設着手)	()	()	()	
		実績	建設完了				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成25年度8月から平成26年4月にかけて建築工事等を実施し、完了した。職人不足等から事故繰越をすることとなったが、当初の活動目標は達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	地域力発信交流拠点施設(大北)の建設着手	目標	()	(建設着手)	()	()	()
		実績		建設完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成26年6月供用開始により、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生することが可能となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	現在、県外のスポーツ団体等の利用者と調整しているが、今後他の利用団体とのネットワークづくりが必要である。	当施設近隣にリゾートホテル等がないことから、市観光協会及び旅行者との取り組みが必要である。
今後の取り組み方針		
特産品開発や、市観光協会の事業と共同で地元芸能等の見学ツアー等を検討していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札により決定しており、妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○本市の地域コミュニティ施設支援方針に基づき実施設計を行い、予算の積算を行っていることから適正な規模と積算である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	